

## 6 減価償却方法

### (1) 減価償却方法の選択基準 A

費用の発生を物理的に把握できない場合、定額法や定率法、級数法のように取得原価を一括して期間を基準に配分する方法が妥当する。一方、費用の発生を物理的に把握できる場合、経験的に減価償却を計算できることから、生産高比例法のように利用高を基準として配分する方法が妥当する。

### (2) 減価償却費の計算方法 A

#### ① 定額法

定義	定額法とは、 <b>每期均等額の減価償却費を計上する方法をいう。</b>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>計算が簡便</b>である。</li> <li>・ <b>償却費を平均化</b>できる。</li> </ul>
前提	耐用年数を合理的に予測できる場合に採用できる。

#### ② 定率法

定義	定率法とは、 <b>每期期首未償却残高に一定率を乗じた額の減価償却費を計上する方法をいう。</b>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>償却費を逡減的に負担</b>させることができる。</li> <li>・ <b>減価償却費と修繕費を合計した値の平均化</b>ができる。</li> <li>・ <b>保守主義</b>の考え方に即している。</li> </ul>
前提	耐用年数を合理的に予測できる場合に採用できる。

#### ③ 級数法

定義	級数法とは、 <b>每期一定の額を算術級数的に逡減した減価償却費を計上する方法をいう。</b>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>償却費を逡減的に負担</b>させる。</li> <li>・ <b>減価償却費と修繕費を合計した値の平均化</b>ができる。</li> <li>・ <b>保守主義</b>の考えた方に即している。</li> </ul>
前提	耐用年数を合理的に予測できる場合に採用できる。

#### ④ 生産高比例法

定義	生産高比例法とは、 <b>每期当該資産による生産又は用役の提供の度合に比例した減価償却費を計上する方法をいう。</b>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>生産高と費用を対応</b>させることができる。</li> <li>・ <b>航空機や自動車等に適用</b>される。</li> </ul>
前提	<b>当該資産の総利用可能量が物理的に確定でき、かつ、減価が主として固定資産の利用に比例して発生する</b> 場合に採用できる。